

2025 January

Vol.91

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



CONTENTS

■ 令和7年新年のあいさつ..... 2	■ 患者図書室から.....11
■ 令和6年度地域医療連携のつどいを開催して... 3	■ 栄養士のつばやき⑥.....12
■ 令和6年度看護師特定行為研修を終えて..... 5	■ 令和6年度広島西医療センター市民公開講座...14
■ 広島東洋カープ 磯村選手訪問..... 6	■ 地域医療連携室実績報告.....15
■ 職場紹介..... 7	■ 紹介医療機関実績報告.....15
■ フットケア外来・ストーマ外来..... 9	■ 外来診療担当医表.....16
■ ひこばえ通信 Vol.1710	

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」



広島西医療センター 令和7年 新年のあいさつ

院長 新 甲 靖



新年明けましておめでとうございます。

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和6年は元日の能登半島地震に始まり、当院からも医療班を派遣するなどの支援をさせて頂きましたが、7月から9月にかけての東北・北陸の豪雨災害も重なり、被災地域では完全な復興にはまだ遠いと伺っております。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、引き続き支援をさせて頂きたいと考えております。

また、昨年7月にはパリオリンピックが開催され多くの日本人選手が活躍されたこと、ロサンゼルス・ドジャース大谷翔平選手の50-50やワールドシリーズ制覇、2年連続MVP受賞など、明るく心躍る出来事も多かった一方、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻、シリアの体制変化や北朝鮮情勢など、世界的な不安材料も持続しており、激動の年であったのも間違いのないと思っております。

当院にとりましても、平成16年国立病院の独立行政法人化に伴い、旧国立大竹病院と旧国立療養所原病院が統合後、平成17年に広島西医療センターが発足して20年という節目の年でした。

さらには旧国立大竹病院の基となった海軍病院が昭和20年の終戦直後に大竹に移設されてからちょうど80年となり、不思議な年回りを感じた年でもありました。

一昨年5月より新型コロナが5類になったとはいえ、現実的には感染者も多く、更にインフルエンザやマイコプラズマ肺炎、伝染性紅斑（リンゴ病）など、例年以上に様々な感染症が流行しております。

それにも拘らず、新型コロナ時の受診控えやその後の受診動向の変化などもあり、医療機関は全国的に苦しい運営を強いられております。

当院も例外ではありませんが、それでも昨年6月より一般急性期病棟の医療費計算方式を従来の出来高払い制から診断群分類包括評価制（DPC）に変更し、より効率的な病院運営を目指し頑張っております。

令和7年も「働き方改革」や「就労人口減少による人手不足」、「物価高騰」など、医療機関にとって困難な状況は続いておりますが、広島西医療センターは「地域や社会に必要とされる医療を安定かつ持続して供給する」という根本的な目標に向かい全職員一丸となって頑張っております。

本年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年 元旦



令和6年度 地域医療連携のつどいを開催して

算定病歴係長 下 畑 泰 希



令和6年12月12日に当医療センター初の試みとして、常日頃より地域医療連携いただいている地域の医師会関係者並びに地域医療機関の皆様方とより一層の地域医療連携を図ることで、より多くの患者さんをご紹介いただき、またご紹介患者さんに安心して、当医療センターで最適な治療を受けていただくことを目的とした「広島西医療センター 令和6年度第1回地域医療連携のつどい」を安芸グランドホテルで開催いたしましたので、ご報告させていただきます。



開催の数か月前から事務部長を中心に統括診療部、看護部、地域医療連携室、事務部企画課から企画運営する人員を選出し、開催準備を行ってきました。

当日は、医師会関係者並びに地域医療機関の皆様方と当医療センター職員を合わせて約100名の方にご出席いただきました。

当医療センターの新甲院長から開会の挨拶があり、ご来賓の大竹市医師会会長 坪井 和彦先生、大竹市副市長 太田 勲男様からご祝辞を賜りました。乾杯は佐伯地区医師会会長 大久保 和典先生からご発声をいただき、歓談が始まりました。

各テーブルでは、初めて顔を合わせる方が多かったと思いますが、最近の治療の話題や昔話などに花を咲かせ、楽しく会話される声がいたるところから聞こえてきました。ご出席の皆様方と職員、ご出席の皆様方同士でご歓談いただき顔と顔の見える関係性を構築することで、交流を深めることができたと考えております。

歓談の時間中には、当医療センターの新任診療部長、新任診療科医長の紹介と嶋谷地域医療連携室長から地域医療連携実績報告、その後、黒田診療部長より血液内科の取り組み、渡邊脳神経内科医長より脳神経内科の取り組み、安本診療部長より泌尿器科の取り組み、永田整形外科医長より整形外科の取り組み、藤高形成外科医長より形成外科の取り組みを紹介させていただきました。

今回は、会食を含めた歓談の場をご用意しましたが、ご出席の皆様方と職員が時間の許す限り意見交換を行うことができ、当医療センターにとっては日頃、顔を合わせてお話しできる機会が少ないため、今回の「地域医療連携のつどい」を通してご出席の皆様方から、直接、ご意見をいただいたことは大変貴重な経験であり、今後の地域医療連携の強化、診療の充実に繋がる大変実りあるものとなりました。

引き続き、広島西二次保健医療圏の中核病院として、職員一丸となり鋭意努力していく所存でありますので、皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



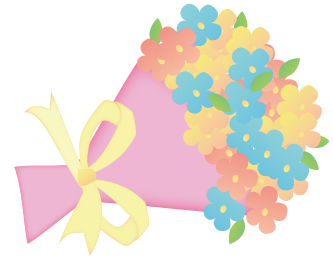
令和6年度看護師特定行為研修を終えて

医療メディエーター 山田 都



看護師特定行為研修（在宅・慢性期領域パッケージ）の第4期生3名が、12月27日に7か月間にわたる研修を無事終え修了式を迎えることができました。

特定行為研修修了おめでとうございます。



■研修修了生からのメッセージ



特定行為研修修了生

受講前の自分と比較し、自信を持っていいと思えるようになりました。他者から評価されることで、ネガティブな部分も受け入れ、苦手な部分を克服しようと思えました。実習では、自身の考えを述べることの大切さを学びました。3名の研修生でのスタートでした。仲間にも何度も助けられ、特定行為修了者として責任感をもち、かつ自身の考えや感性を大切にしていきたいと思えます。

景山 智美



特定行為研修修了生

特定行為研修では、臨床推論、フィジカルアセスメント、薬理学を学びました。プレゼンテーションやOSCE、実習では、評価を受け精神を鍛えることができました。医師の治療方針について、理解が深まり、予測した看護を実践していく助けになったと思います。特定行為を実践するときは、患者さんへの配慮や介助者とのコミュニケーションをとることが大切だと思いました。特定行為研修で習得した技術を生かせるよう頑張ります。

藤原 不器



特定行為研修修了生

特定行為研修を修了し一番大きく感じたことは、視野が広がったことです。研修では臨床推論など医師の視点を学ぶことができました。また、指導医、指導者からのアドバイスを受け多角的な視点と常に根拠を考える姿勢は大変貴重な経験となりました。実習では医師とディスカッションを行う場面もあり、自分自身の思考過程を言語化する能力が鍛えられます。特定行為看護師の人数は少なく、認知度も低いです。特定行為とは何か、特定行為看護師が身近にいることを知ってもらいたいです。一人では困難なことも多く、不安もあるので仲間を作って活動の幅を広げていきたいです。

西田 亜紀子

広島東洋カープ 磯村選手訪問

療育指導室 主任保育士 中尾 光 恵



磯村選手の訪問は筋ジストロフィーの方々が多く入所する当院の方々に何か出来ないかという縁から、神経筋疾患病棟との交流が3年前から続いています。

初めての交流は令和4年で、まだコロナ禍であり制限が厳しく、オンラインでの画面越しでした。昨年からは直接会って交流出来るようになり、今年度もクリスマスの時期に会いに来てくれました！

昨年は神経筋疾患病棟だけの訪問でしたが、今年は重症心身障害病棟へも来てほしい思いをお伝えすると快く引き受けて頂き、6ヶ病棟訪問が実現しました。

病棟では「それいけカープ！」の曲が流れ、ユニフォーム姿の磯村選手が登場すると大きな拍手と喜びの声が聞かれました。

今年度は握手&撮影会&サイン会ということで、自己紹介をしてもらったのち、交流が始まりました。

プロ野球でキャッチャーを務める大きな手と握手をし、ツーショットで写真撮影をしたり、色紙や各々の持ち物などにサインをしてもらいました。

みなさんの反応は、カープのユニフォームを着ている人がそこにいるだけで気持ちがワクワクする方、「応援しています！」とプロ野球選手を前に目を輝かせる方、「昔は市民球場によく行ってね〜」と懐かしい思い出に浸りながら話が花が咲く方、「会えて嬉しいです」と強い握手と共に涙を浮かべる方、それぞれが磯村選手との交流を楽しめました。

磯村選手は一人ひとりに笑顔で声をかけて回っておられ、患者さんを初め、多くの職員が気さくで穏やかな人柄に触れ、とても暖かい笑顔溢れる時間が流れ、その場にいた全員が元気をもらえました。

磯村選手に、交流後その思いと感謝を伝えると「僕の方こそ、元気をもらっています！」とありがたい言葉を頂きました。

毎年こうして交流できる“繋がり”に感謝をしたいと思います。



職 場 紹 介

●手術室

看護師長 小野 妙子



当院の手術室は、手術室2部屋、看護師長1名、看護師8名、看護補助者1名の小規模手術室ですが、月間約95件、年間約1,100件の手術に対応しています。手術に関連する診療科は、整形外科、外科、泌尿器科、形成外科、腎臓内科、皮膚科で、医師と看護師で密に連携を取りながら、患者さんに安心して安全な手術治療の提供に努めています。

昨今、各地で地震が発生し、被害状況の深刻さに胸を痛めています。南海トラフ大地震の影響を受ける地域にある当手術室では、対岸の火事を眺めるのではなく、自分事として捉え、動き始めています。

手術中は、患者さんに麻酔がかかっていること、鋭利な器材や様々な医療機器の使用を伴う手術手技、清潔の確保が必要なことなど病院内でも特殊な環境です。地震が発生した場合には、患者さんの安全確保とともに医療者の安全確保も重要です。地震が発生した場合に、どのように行動すればよいか、どのような準備が必要かと、頭で考えていてもいざとなると動けないものです。そこで、当手術室では、手術室用の災害マニュアルやアクションカード（役割別に実施すべき行動が記載されているカード）を作成し、診療科毎に机上訓練を実施、その後、手術室内でのシミュレーション訓練を実施する計画を執行中です。

まだ、机上訓練の段階ですが、震度7の揺れで器材はどの程度動くのか、患者さんの安全確保はどのようにするのか、医療者はどのように自分の身を守るのか、手術は続行できるのか、手術室内で誰がどのように判断し、指揮をとるのか…これまでに経験のない状況を現実に置き換えても、中々、正解にはたどり着けません。しかし、シミュレーション訓練で実体験してみることで、良い結果に結びつくと信じて実施していきます。大規模災害が起こらないに越したことはありませんが、備えあれば憂いなし！だと思えるように訓練に取り組んでいます。



●2若葉病棟

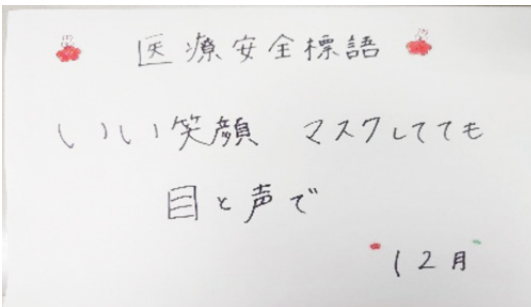
看護師長 横田 千恵美



2若葉病棟は、病床数40床の重症心身障害児（者）病棟で、超重症児者・準超重症児者がいます。患者さんの主な疾患は、脳性麻痺や染色体異常で、近年医療の発達により重症心身障害児（者）の高齢化が進み誤嚥性肺炎や尿路感染症が増えてきています。また、超重症児者が増加し、医療的処置や細かい観察など、高度な医療の提供が必要となっています。年齢は、10歳代の学童期の患者さんから70歳代と幅広い年齢層の患者さんが入院しています。学童期の患者さんに関しては、病院に隣接した特別支援学校の教員が病棟に訪問して授業を行っています。

入院中の院外療育活動や院内療育活動を安全に実施でき





るように、医師・看護師・児童指導員・保育士等、多職種でカンファレンスを行い、情報共有し取り組んでいます。院外療育活動に関しては、患者さんやご家族は毎年近くの美術館や観光地に行くことを楽しみにされており、当日療育活動ができるように体調管理に努めています。

看護としては、1年間受け持ち患者さんに対し責任をもった質の高い

看護の実践を通して、看護スタッフのやりがいや自己実現につながるよう日々励んでいます。

今年度は、患者さんへの安全・安楽な看護を提供できるように頑張っています。毎月医療安全グループが標語を考え、毎日みんなで唱和することで、スタッフ丸となり患者さんに優しい看護を提供できるように日々取り組んでいます。

これからも患者さんが日々安全に過ごすことができ、患者さんとスタッフの笑顔あふれる病棟となるよう努力していきたいと思っています。



●心理療法室

心理療法士 舘野一宏

当院では、患者さま・ご家族さまの心理面のサポートを行う心理療法士が働いています。今回は、私たち心理療法士についてご紹介します。



1. 心理療法士って？

『心理療法士』と聞いて、何をやる人なのかピンとこない人もいます。病院によっては、『心理相談員』や『心理士』という名称で呼ばれていることもあります。『カウンセラー』といえばなんとなくイメージしやすいかもしれませんが、当院では、2名の心理療法士が働いています。

2. 心理療法士の仕事

1) カウンセリング

心理カウンセリングと聞くと、うつ病などの精神疾患の方が受けるものというイメージがあるかもしれませんが、しかし、病気になった時に何かしらの悩みやストレスを経験することは当たり前のことです。悩みやストレスで気持ちに余裕がない時ほど、考えが整理できず一人で抱え込んでしまいがちです。このような時に解決のお手伝いをするのが心理療法士によるカウンセリングです。カウンセリングでは、一方的に解決方法を提示し、何をすべきか指示することはせず、話をゆっくりと聞いて整理し、その方の性格や人柄に合うような問題の解決方法を一緒に考えていくことが中心になります。

2) チーム医療への参加

命を脅かす病気に直面している方やそのご家族のつらさを和らげ、よりその人らしく生活を送るよう援助する治療やケアを緩和ケアといいます。心理療法士も緩和ケアチームの一員として、不安や気がかりなど心理的な苦痛が軽減されるよう支援します。

3) 心理検査

「検査」といっても、血液を採取したり、特殊な機械で調べたりするのではなく、質問や課題に答えてもらうことで、心理特性（知能・発達、性格、認知機能など）をはかります。

心理検査は、主に言葉のやり取りを介して行われます。「緊張して上手くできなかった」ということがないように、検査を始める前には、程良くリラックスした状態で取り組めるように心がけています。

フットケア外来・ストーマ外来

看護師長 牧島 治美



当院では、フットケア外来とストーマ外来を行っています。

フットケア外来では、糖尿病患者さんのフットケアを行い足病変予防のサポートをしています。フットケアの内容として、足の観察を行い、爪切り・足浴・マッサージ・創傷処置などを行っています。足の状態により、皮膚科医師・理学療法士・ソーシャルワーカーなど他職種とも相談し適切なケアを提供しています。また、栄養指導を個別に実施し、食生活のサポートも行っています。足に関するだけでなく、患者さんの日常生活の過ごし方や悩み、思いなどの話に耳を傾け、患者さんのQOLを第一に考えたケアを目指しています。スタッフ一同、何よりも患者さんが喜ばれている姿を見て看護のやりがいを感じています。

ストーマ外来は、人工肛門と人工膀胱を造設された患者さんを対象に2024年9月に開設しました。ストーマリハビリテーション研修を受け、専門的知識を持った看護師がストーマケアを行っています。ストーマケア内容として、ストーマ保有者の個別に適したストーマ装具の選択や装着指導、ストーマ周囲の皮膚トラブル・陥没ストーマ・排泄にかかる諸問題の解決に向けてケアを行っています。当院でストーマ造設術を受けた患者さんだけでなく、他院でストーマ造設術を受けた患者さんも、ストーマについてお気軽に相談していただき、少しでも患者さんの日常生活のサポートができればと思っています。

今後も、患者さんと共に、患者さんのQOLの向上を目指し、フットケア、ストーマケアに携わってまいります。

●フットケア外来

診療日／毎週水曜日

診察場所／皮膚科外来

●ストーマ外来

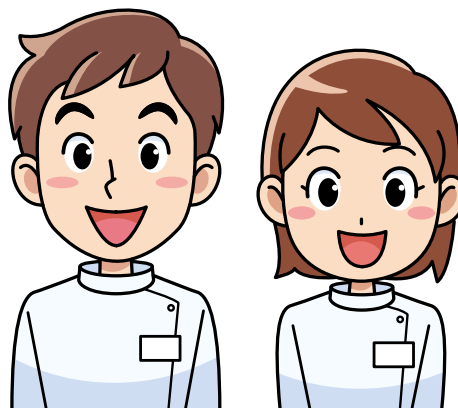
診療日／毎週木曜日

(別日を希望する場合は、要相談)

診察場所／外科外来



2か月後



ひとばえ通信 Vol.17 「コウモリのお話」(中編)

統括診療部長 浅野 耕助



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

小寒が過ぎて寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の内容は、前回に続きコウモリについてお話します。コウモリが属する哺乳類の中でも空を飛べる種は限られていて、ムササビやモモンガ、ヒヨケザルなどは四肢の間に膜を発達させて飛翔ではなく、高いところからグライダーのように滑空することはよく知られていま

すね。ところがコウモリは人間でいうところの指の間まで水かきのように軽くて薄い皮膜を発達させて、鳥と同じように羽ばたいて飛ぶことができる唯一の哺乳類です。寓話などでは都合に合わせて獣と鳥の間を行ったり来たりする、どっちつかずの卑怯者のように描写されるコウモリですが、逆に哺乳類のように地上を歩いたり走ったりすることはできず、飛ばないときは後ろ足で洞窟の天井や木の枝に逆さまにぶら下がって、移動はもっぱら飛行だけで、むしろ鳥より鈍重なのです。(図1)

そんなコウモリですが、前回紹介したアブラコウモリなどは飛びながら小さな虫を捕食するという、ツバメなどと同じ特異的な能力を持っています。日中活動する鳥は視力が発達していて、眼でとらえた目標に向かって素早く移動し、獲物を捕らえるのですが、コウモリは夕暮れから夜間にかけて活動するためか視力が発達しておらず、高周波の鳴き声を発してその反響で獲物の位置を確認するという驚異的な感覚を有しているのです。(図2)

このような音波などを照射して対象物の位置を確認することを「反響定位」といいます。人間の世界では音波を用いると「ソナー」、潜水艦の“ピコーン”と鳴らすやつですね。隠密行動の潜水艦が自ら音を発するとは本末転倒のような気がしますが、また電波を使うとご存じ「レーダー」、光(レーザー)を使うと「光波測距儀」です。この光波測距儀を使う場面は物騒なので書かずにおきます(ヒント:ゴルゴ13)。ソナーは身近なところでは、私たちが普段の診療で使う超音波検査機器があります。音波を使うため人体にほぼ無害で体の中の様子が観察できるため重宝しています。実はこの超音波検査機器開発の発端が、コウモリの反響定位に着想を得たのだそうです。えらいぞ、コウモリ君。

しかし上には上がいるもので、コウモリ君に食べられる側の虫にもすごいのがいます。夜半活動する蛾はコウモリ君の格好の餌食ですが、一部の蛾にはそのコウモリ君が発する超音波を感知して、それが自分に照射されるや否やポタッと地面に落下し、コウモリ君の視界、ではなくて聴界? から姿を消す能力があるそうです。いやはや驚愕の夜行生物の世界ですね。では後編もお楽しみに。



図1

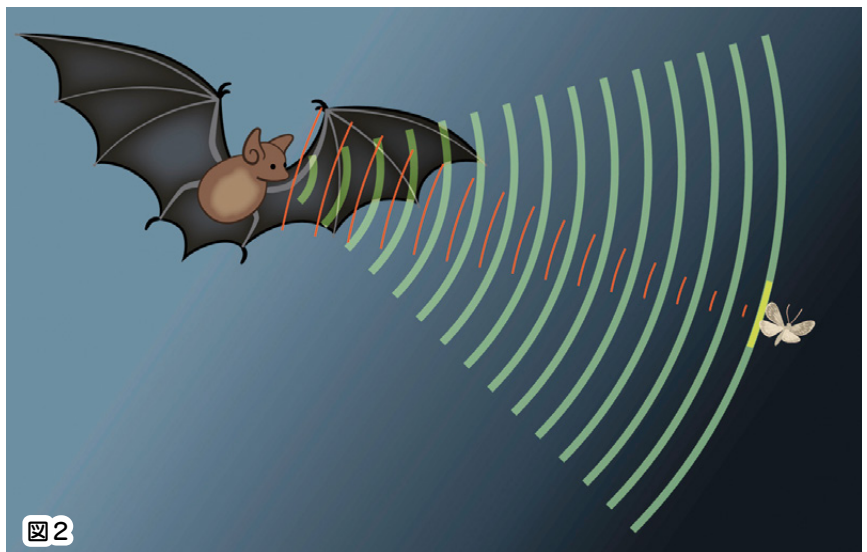


図2



患者図書室から



本年もよろしくお願いたします



あけましておめでとうございます。旧年中は患者図書室をご利用いただきありがとうございました。
 おかげさまで、当図書室は今年設立 15 年目を迎えます。開館時は 1,000 冊足らずの蔵書でスタートしましたが、今では「病気」や「健康」に関する本だけではなく、「小説」、「マンガ」などの一般図書も充実。蔵書も 8,000 冊を超え、多くの皆さまにご利用いただいています。
 本年も皆さまに親しまれ、喜ばれる図書室になるように努力してまいります。
 入院患者さん、通院患者さん、ご家族、どなたでもご利用になれます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



「病気」や「健康」に関する本コーナー



「小説」・「エッセイ」文庫コーナー



「マンガ」コーナー
※蔵書は 3,000 冊以上！



「学習」・「DVD 鑑賞」コーナー
※プライバシーに配慮しています



冬は、暖炉に火がとまります



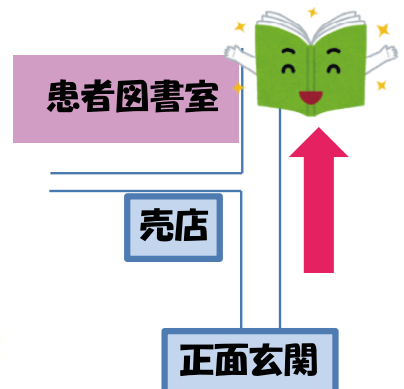
クイズ・ぬりえ、他 気晴らしコーナー

「図書紹介ファイル」2025 年版 出来ました♪

今年も患者図書室の図書紹介ファイルを作りました。各待合室、病棟デイルームに配布しています。どうぞご覧ください。



「病気や健康」に関する本のご紹介
 「健康情報のひとしずく」
 左 ピンク色のファイル
 ※疾患別におススメの本を写真入りで
 分かりやすく、ご紹介
 小説やマンガ、絵本などのご紹介
 「さつき文庫」
 右 白色のファイル



開館時間 月～金 10 時～15 時
 土日・祝日・年末年始・第 2 月曜日は休館
 ※第 2 月曜日が祝日の場合は、第 4 月曜日が休館となります
 場 所 正面玄関から入って直進 70m 先

皆さまの、2025 年が 幸せでありますように！



*** 特別メニュー再開♡第3弾!! ***

今回は10月～12月に提供したメニューをご紹介します。

今年度4月から再開した特別メニューですが10月からは月2回の提供となりました。

特別メニューは、普通食を召し上がっている（アレルギーや禁止のない）方を対象に通常の食事代に500円の追加料金をいただき提供しております。

毎回、当院の調理師が献立作成から調理まで行い、腕をふるっておりますので、機会があれば是非、ご賞味あれ！



10月上旬 秋の行楽弁当



10月下旬 中華風秋の行楽弁当



11月上旬 長崎パリパリ皿うどん



11月下旬 秋の洋風御膳



12月上旬 きのこのクリームパスタ



* 選択食などの紹介 *

栄養管理室では、入院中のお食事が患者さんにとってお体の回復への一助になるだけでなく楽しみになるような取り組みを行っておりますので、ご紹介させていただきます。

【選択食について】

東西病棟入院中の普通食（禁止等のコメントがない場合）を提供している患者さんを対象に毎週水～金曜日の昼食・夕食でA食・B食のいずれかを選択いただくことができます。

B食を選択された場合は、17円の追加料金をいただいておりますが、選択する楽しみや少し目先の変化もあり好評をいただいております。（写真はB食の一部）

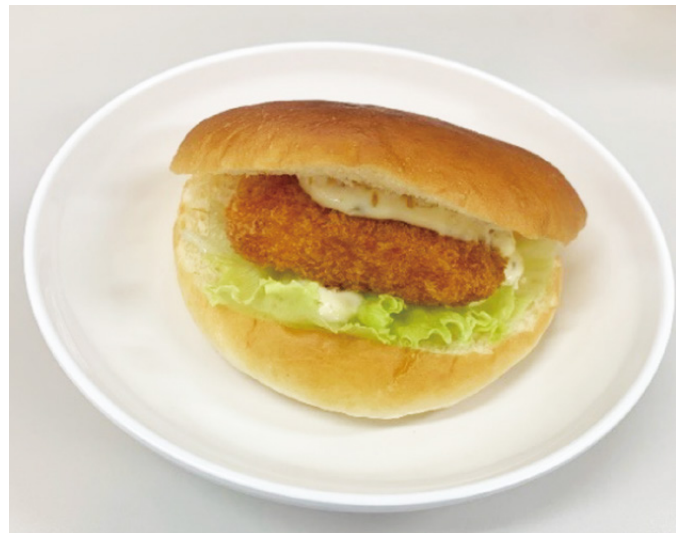
選択用紙は選択食を実施する週初めの月曜日に対象者の方へ配布しておりますので、お好きな料理を選んでみてはいかがでしょうか。

また【特別メニュー】については、現在、栄養士のつぶやきでも連載しております。

これからも食事を通じて、ほんの少しの楽しみをお届けできるように取り組んで参ります。



【ふわとろ卵のオムライス】



【えびカツバーガー】



【はもの天ぷら】



【ビビンバ丼】



令和 6 年度 広島西医療センター市民公開講座

テーマ

入場
無料

認知症で一番多い
「アルツハイマー型認知症の最新治療を知ろう」

講師

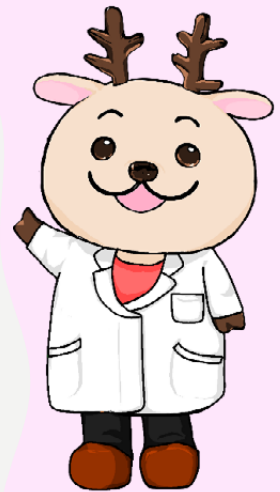
広島西医療センター脳神経内科医長
渡辺 千種 先生

日時

令和7年3月8日（土）

時間：13：00～14：00

場所：広島西医療センター3階「大講堂」



認知症は早くみつけて早く対応することが大切です。身近な方が、同じことばかり聞く、置き忘れがめだつ、料理や買い物をしなくなった、以前はあった興味や関心がなくなったといった症状がありませんか。



<お問い合わせ>

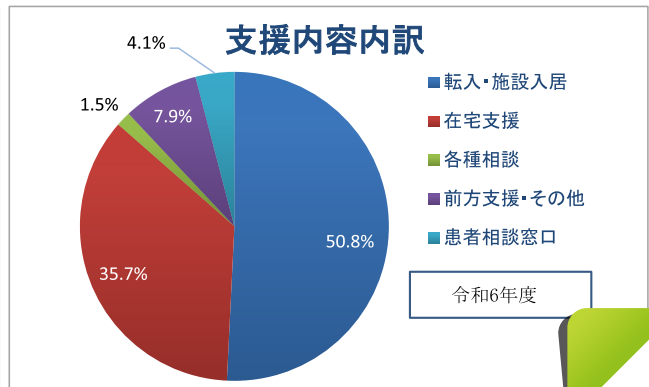
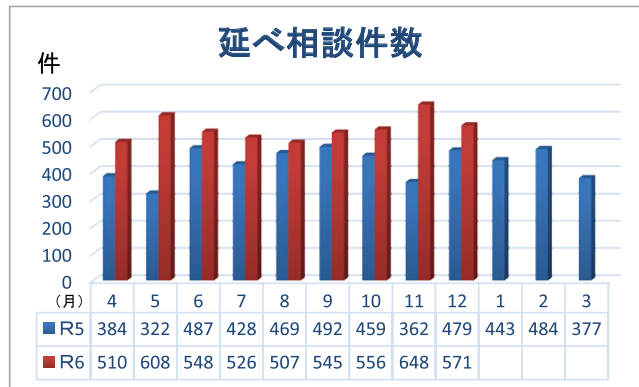
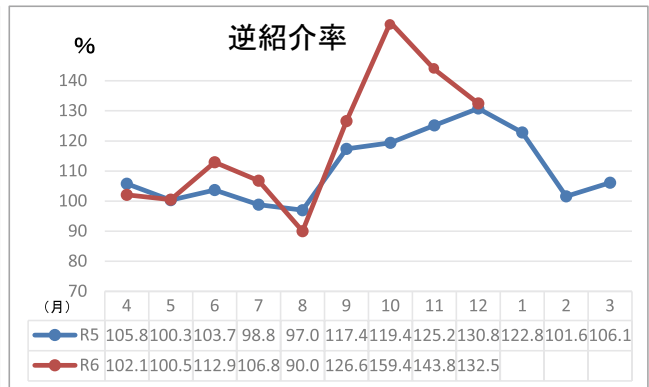
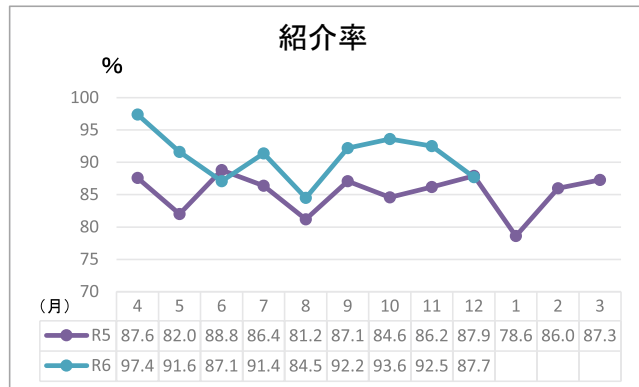
広島西医療センター 地域医療連携室
TEL：0827-57-7183（内線2140）

主催／広島西医療センター 後援／大竹市医師会・大竹市

【交通機関のご案内】

JR山陽本線 玖波駅下車徒歩約7分
山陽自動車道 大竹インターから約3分

地域医療連携室実績報告



紹介医療機関実績報告

ご紹介をいただいた医療機関を一部掲載しました。

紙面の都合上すべてを掲載できませんが、ご紹介をいただきありがとうございました。

紹介元医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	897	100
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	91	10
岩国市医療センター医師会病院	50	6
駐留軍要員健康保険組合岩国基地診療所(岩国ベース)	75	8
おおえ内科クリニック	255	28
医療法人社団明和会 大野浦病院	101	11
大竹中央クリニック	91	10
おだ整形外科クリニック	89	10
医療法人 木村医院	53	6
こころ皮ふ科	64	7
佐川内科医院	86	10
JA広島総合病院	150	17
しまだファミリークリニック	133	15
ないとうクリニック	86	10
医療法人 中村クリニック	225	25
広島大学病院	47	5
村井内科クリニック	74	8
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	69	8
山下ケアクリニック	380	42
医療法人社団親和会 大和橋医院	62	7

紹介先(逆紹介)医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人ハートフル アマノリハビリテーション病院	121	13
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	470	52
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	192	21
岩国市医療センター医師会病院	91	10
おおえ内科クリニック	157	17
医療法人社団明和会 大野浦病院	188	21
大竹中央クリニック	105	12
おだ整形外科クリニック	44	5
医療法人 木村医院	45	5
佐川内科医院	84	9
JA広島総合病院	366	41
しまだファミリークリニック	110	12
医療法人英真会 坪井クリニック	45	5
ないとうクリニック	49	5
医療法人 中村クリニック	149	17
広島大学病院	134	15
村井内科クリニック	66	7
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	127	14
山下ケアクリニック	308	34
医療法人社団親和会 大和橋医院	84	9

※件数は令和6年4月～令和6年12月実績

●●● 外来診療担当医表 ●●●

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで …前号からの変更箇所

令和7年1月6日現在

		月	火	水	木	金	備 考
総合診療科	1診(新患)	生田 卓也	渡邊 凌平	渡邊 凌平	生田卓也/渡邊凌平	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患
	2 診	渡邊 凌平	生田 卓也	生田 卓也	渡邊凌平/生田卓也	渡邊 凌平	
内科	1診 呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	広大(血液)	再診外来予約制
	2診 消化管・肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	藤堂祐子(消化管)	
	3診 内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	広大(内分泌代謝・糖尿病)	/	
	4診 血 液	広大	角野 萌	宗正 昌三	黒田 芳明	角野 萌	
	5診 循 環 器	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	
	6診 腎臓/血液	黒田芳明(血液)	平塩秀磨(腎臓)	/	谷 浩樹(腎臓)	平塩秀磨(腎臓)	
脳神経内科	1 診	鳥居 剛	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制
	2 診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍 北村 樹里	檜垣 雅裕 (頭 痛)	黒田 龍	予約制 PM
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM
禁 煙 外 来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制
小 児 科	一 般 外 来	広大AM	/	/	/	/	
	専 門 外 来	小児筋ジストロフィー	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏
	重症心身障害	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	
	小児心身・発達	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
	神経外来	/	小林 (第3)	/	/	/	
補 装 具		/	/	/	/	/	
外 科	初 診	石崎 康代	豊島 幸憲	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/石崎/米神/豊島	金曜日交代制
	再 診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	豊島 幸憲		
整形外科	初 診	神原 智大	田中 碩	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日
	再 診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦	
	再 診	(永田義彦/田中 碩)	広大医師	神原智大/田中 碩	/	田中 碩/神原智大	月曜日()手術
形 成 外 科		/	藤高 淳平	/	藤高 淳平	藤高 淳平	
泌尿器科	1 診	安本 博晃	/	安本 博晃	広大医師	安本 博晃	火曜日手術日
	2 診	坂本 勇樹	浅野 耕助	坂本 勇樹	/	坂本 勇樹	木曜日手術日
産 婦 人 科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制
皮 膚 科		招聘医師AM	/	招聘医師AM	/	/	予約制
眼 科		広大医師AM	/	/	/	/	毎週月曜日

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701